※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	３単位	年次	３～４年次
使用教科書	『国語表現 改訂版』（大修館書店）						
副教材等	教員作成プリントを用いる。必要に応じて Chromebook を使用する。						

１　担当者からのメッセージ

・日本語による言語活動（とりわけ、「話すこと・聞くこと、書くこと」といった）能力の基礎的な力を身につけるため、多様な学習活動に取り組む。
・書く力を向上するための作文技術、話す力を養うためのスピーチの練習、また、日常的に用いられる国語的な表現（手紙の書き方、敬語の使い方など）を確認・習得しつつ、日常生活においても適切に用いることができるよう学習に取り組む。

２　学習の到達目標

・自ら考え、適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
・また、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、自ら進んで表現する力や態度を育成し、社会生活における言語活動の一層の充実を図る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、自ら積極的にその向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自らの考えを深め、発展させているか。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自らの考えを深め、発展させているか。		言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けているか。
評価方法	・行動の観察(授業中の態度や発言等) ・提出物の点検	・行動の観察(授業中の態度や発言等)	・提出物（ノート・プリント等）の点検		・小テスト ・提出物の点検 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	c	d	e		
前期	書いて伝える	1　整った文を書く 2　わかりやすい文を書く 3　文のつなぎ方 4　絵や写真を見て書く	○		◎		○	a:主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 c:・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 e:・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物（ノート・プリント等）の点検 ・小テスト ・定期考査
	自己PRと面接	1　自分を見つめて 2　効果的な自己PR 3　将来の自分を考えよう 4　志望動機をまとめよう 5　面接にチャレンジ	◎	◎			○	a:・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。 b:・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。 c:・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 e:・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物（ノート・プリント等）の点検 ・小テスト ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

	小論文・レポート入門	1　小論文とは何か 2　反論を想定して書く 3　資料を読み取って書く 4　発想を広げて書く 5　レポートを書く 6　論文を書くために	○		◎		◎	a:・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。 c:・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 e:・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物（ノート・プリント等）の点検 ・小テスト ・定期考査
後期	メディアを駆使する	1　通信文を書き分ける 2　電話を使いこなす 3　ネット社会とコミュニケーション 4　メディアと情報	○	◎	◎		◎	a:・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 b:・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。 c:・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。 e:・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物（ノート・プリント等）の点検 ・小テスト ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

	会話・議論・発表	1　相手や場面に応じた会話 2　議論して結論を出す 3　プレゼンテーションの工夫	○	◎	○		◎	a:場面にふさわしい言葉遣いを考える。 b:適切な言葉遣いでロールプレイをする。 c:視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。 e:・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	・行動の観察（授業中の態度や発言等） ・提出物（ノート・プリント等）の点検 ・小テスト ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。